



発行第50号記念

平成20年6月1日に第1号を発行しました「みたか環境ひろば」も第50号を迎える運びとなりました。これもひとえに歴代のみたか環境活動推進会議委員や記事の掲載にご協力いただいた方々などのご支援のおかげであり、感謝申し上げます。今後とも環境に関する啓発に努めますので、引き続き感想などお寄せください。（みたか環境活動推進会議事務局）

■記念号を迎えてのご挨拶

（みたか環境活動推進会議会長 森 眞佐子）

「みたか環境ひろば」の第1号は、平成20年の6月に発行されました。「循環・共生・協働のまちみたか」を掲げ、みたか環境活動推進会議が発足し、多くの市民のみなさまに三鷹の環境について知ることにより、三鷹の環境に興味を持ってもらう事ができればと思い、発行したものです。今までに「野川の自然」「井の頭公園」「丸池公園」「大沢の里」などたくさんの方の三鷹の自然について取り上げてきました。その他、環境について日ごろ活動していた方々に集まっていたご懇談会を開いたり、エコミュージカルの公演などを行ったことを記事に取り上げてきました。その「みたか環境ひろば」が今回で第50号を迎えることができました。

市役所をはじめ市の公共施設で配布しているほか、過去に発行した「みたか環境ひろば」を全て市のホームページに掲載しております。みなさまからのご意見・ご感想をお待ちするとともに、引き続きのご愛読よろしく申し上げます。

みたか環境ひろば 第1号

2008年6月1日発行

「みたか環境活動推進会議」が活動を始めています

循環・共生・協働のまちみたか

こんな三鷹を実現したい

みんなが考え、協働して環境保全に取り組む

より強力に循環型社会の形成に取り組む

緑と水が身近に感じられ、豊かな自然を守りぬく

健康で安全・安心に生活ができる

都市と緑が共生し、美しいまち並みがある

「循環・共生・協働のまち みたか」の実現を目指し、市民・事業者・市からなる「みたか環境活動推進会議」がつけられました。

清原市長よりは、「今までにない新しい取り組みが行われることを期待している」と言われています。まだまだ手探りの状態ですが、一歩一歩活動を進めていきます。

6月の環境月間には環境標語表彰式と環境ミュージカルを開催します。ニュースレター「みたか環境ひろば」(月刊)を今月から発行します。また「みたか環境懇談会」を9月から開催します。

環境をよくする活動には、市民一人ひとりが身近でできることを地道に実行していくことが大切です。多くの市民の方が環境活動への参加しやすいような仕組みを模索中です。多くの市民の方の参加を期待しています。



平成20年6月発行の第1号

■第1号から現在までを振り返る

（三鷹市生活環境部長 清水 富美夫）

「みたか環境ひろば」第50号の発行おめでとうございます。発刊以来、連続と発行が続けられたことは特筆に値します。これもひとえに歴代のみたか環境活動推進会議委員の熱意と尽力によるものです。「みたか環境ひろば」の発行者である「みたか環境活動推進会議」は、平成14年3月に策定した三鷹市環境基本計画の進捗に必要な環境情報の収集・提供・交換や協働で環境保全の取り組みを進めるため、平成19年5月に設置されました。その後、平成20年に、市報やホームページを補完し、情報共有とコミュニケーションのひろばになることを願い、ニュースレターを発行してはどうかとの提案があり、発行することとなりました。

発行するごとに内容も幅広い話題を取り上げるようになり、充実した紙面になっていると思います。私も目を通すたびに新たな発見があり、毎号楽しみにしております。

この「みたか環境ひろば」がより紙面の向上と読者の増加を目指して、今後とも第100号・・200号へと継続されることを希望してやみません。

■これまでの「みたか環境活動推進会議」の活動

平成19年5月に設置された「みたか環境活動推進会議」のこれまでの主な活動内容を以下のご紹介いたします。

■平成19年5月設置



■平成20年6月1日 「みたか環境ひろば」発行



■平成20年8月17日～ 平成21年9月20日号 広報「みたかの環境」連載

■環境講座の開催

(平成20年9月27日、10月18日、平成21年2月18日、平成22年3月6日、平成22年3月10日)



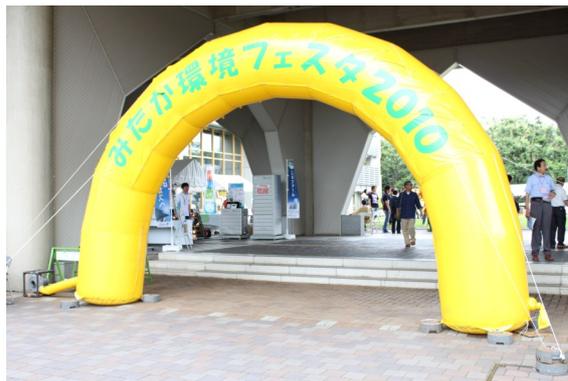
第3回 みたか環境懇談会
 日時 平成22年3月6日(土) 午後1時～4時
 会場 三鷹ネットワーク大学
 申込 問合せ先 三鷹市 環境対策課
 電話 0424-44-1111 (内線 3023・3024)
 E-mail: kankou@city.mitaka.lg.jp
 主催 みたか環境活動推進会議 ・ NPO法人 三鷹ネットワーク大学環境部

■みたか環境 フォーラム2011の開催

(平成23年6月25日、
三鷹産業プラザ)



■みたか環境フェスタ2010 ～みどりの地球を未来に残そう～ (平成22年6月26日、三鷹市役所中庭ほか)



■グリーンカーテン写真展の 開催

(平成24年11月11日、三鷹市農業祭)

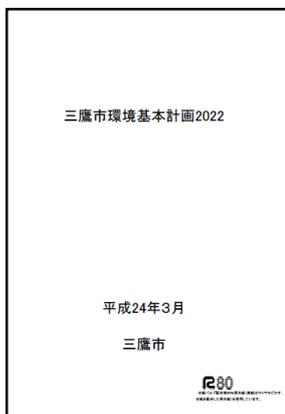


■環境基本計画の 策定についての 意見提案

(平成24年3月策定)

■エコミュージカルの開催

(平成21年6月28日、三鷹市公会堂)
 (平成22年6月26日、三鷹市公会堂)
 (平成24年6月3日、三鷹市芸術文化センター)
 (平成25年6月29日、三鷹市公会堂)
 (平成26年6月15日、三鷹市公会堂)



■スポーツGOMI拾い大会の開催

(平成23年7月17日、みたか商工まつり)
 (平成24年11月11日、三鷹市農業祭)
 (平成25年11月23日、ふじみまつり)
 (平成26年11月23日、ふじみまつり)



などなど、たくさんの活動を行ってまいりました。これからも様々な環境保全に関する活動に取り組みます！

■「七住協環境問題懇談会」の活動

「みたか環境活動推進会議」は、三鷹市環境基本計画に基づき、市民、事業者及び市が協働で三鷹市が目指す環境像の実現を図るために平成19年に設置されたものです。

今回はそれ以前から、七住民協議会が長年にわたり、地域環境やごみ問題、リサイクル促進などに積極的な取組をし、地域の中心で活動し成果を生み出している「七住協環境問題懇談会」を紹介いたします。

「環境問題懇談会」は昭和62年から続いている七住民協議会の環境部会の年1回の集まりです。当初は「牛乳パック連絡会」として、各住協ごとに牛乳パックを回収することで、リサイクル活動を推進することとして始められましたが、10数年前に牛乳パックに特化することなく広く環境問題を考える場にすることにし名称が「環境問題懇談会」に替わったという経緯があります。今年度は、大沢住協が担当し、午前中は「大沢の緑と景観」を観ていただきました。出山横穴8号墓の見学、国分寺崖線の雑木林、大沢の里公園整備の現状、七中階段上からみる大沢の展望ビューポイント、天文台の竹林管理活動などを関係者に説明をしてもらいました。また大雨に対応する「野川大沢調節池」を飛行場前の通りから見てもらいましたが、平成14年から平成26年まで30回の流入があり、その半分は野球場やサッカー場まで流入した説明に驚きながら、水対策の重要性を改めて認識いたしました。

昼食をはさんで2時間、お互いの情報交換をしました。環境部会がなく総務部会や厚生部会が環境を担当している住協もありますが、難しい問題もみなさんが協力し、精力的に取り組み、解決している姿にこの会議の意義を感じます。

26年も続く「環境問題懇談会」は七住協の大切な情報交換の場であり、地域環境の向上のための知恵を出し合える場でもあるよう絶えることなく継承されていくでしょう。

(千野)



■スポーツGOMI拾い大会inふじみまつり

新しい年になりました。今年も道々にごみのない綺麗な住みたいまち三鷹の人気を維持したいですね。

さて、昨年11月23日（日曜日）に天気にも恵まれ「ごみ拾いはスポーツだ」をスローガンにスポーツGOMI拾い大会を行いました。市報やチラシなどを見て申し込みをいただいた方や当日申し込みの方もおり、ご家族やサークル仲間、友人同士など12チーム45人の参加がありました。スポーツGOMI拾いは、各チームに審判員一人が入って車や自転車、歩行者との安全を見守りながら、決められたエリア内でごみを集めるスポーツです。今回で、みたか環境活動推進会議が関わる4回目のスポーツGOMI拾い大会ですが、参加するチームも増え、見た目では道路は綺麗に見えました。しかし、ごみは目立たないところに隠れているかの様であり、特にグリーンベルトになっている道路沿いの垣根の枝が絡み合っている中に、ペットボトルや空き缶、ビニール袋などがありました。ちょうど垣根の高さが、参加した家族の子どもたちの目線と合っていて、大人が目線では気づかないところからごみを拾っていました。「うちの子が拾う度に『こんなところにごみを捨てちゃだめだよ』って拾っているのよ」とお母さんが私に教えてくれました。他のグループの方々も拾い集めた後は、みんなとても晴れ晴れとして素敵な笑顔をしていました。そして「とても楽しかった」と言ってくれました。

ごみを拾う作業なのに家族や友達とスポーツ感覚で楽しく行えたのは「良いことだな」「素敵だな」とつくづく感じました。（西山）



■三鷹のみち

三鷹の古い街道の1つに人見街道（三鷹市役所前のバス通りのみち）がある。杉並区大宮から三鷹市役所、大沢を経由し調布を経て府中の旧甲州街道方面へと通じる街道である。人見街道を府中方面に行くと近藤勇の生家跡が調布側に、三鷹側にはお墓として奉られている龍源寺がある。生家跡のある交差点（野川公園）から、大沢グラウンド方向へと比較的新しいみち”大沢グラウンド通り”がある。大沢グラウンド通りを南へ進むと両側に都立武蔵野の森公園が広がり、右側に調布飛行場が展開する。左側には戦争の記憶を残す証拠とし掩体壕（えんたいごう）2基が現存する。調布飛行場は、B29に対する首都防衛のため旧陸軍の飛行場として使用され、掩体壕は旧陸軍戦闘機飛燕の格納庫とされた。また、飛行場は特攻基地知覧への中継基地でもあった。今では総合防災公園として整備され幼い子ども連れの親子などがピクニックなどで楽しまれている。さらに進むと“水車通り”と交わり水車農家などを観ることができる。

ところで、最近の街路灯が変化しているのをご存知でしょうか。蛍光灯から今話題のLED街路灯へと省エネ（電気料軽減及び長寿命による交換費の節減）化へと進んでいます。11月末現在で、市内街路灯設置数12,047の内622灯がLED化“5.2%”が実現されている。（平澤）



掩体壕

■環境講座「ナガミヒナゲシなど外来植物が在来植物に与える影響」を開催します！

近年、五月の連休が近づくとナガミヒナゲシが一斉開花します。街中や土手の雑草社会の近況をお話します。

日時：1月17日土曜日 午後2時から4時まで（受付午後1時30分から）
場所：三鷹市市民協働センター 2階第一会議室 三鷹市下連雀四丁目17番23号
講師：根本 正之氏（東京大学大学院農学生命科学研究科）
定員：80名（先着順、当日直接会場へお越しください）
主催：みたか環境活動推進会議・三鷹市



環境掲示板

「パッチンネコさん」作り

日時：1月28日(水曜日)
午後1時から3時30分まで
場所：三鷹市リサイクル市民工房
内容：洗たくばさみをネコさんに変身させます
対象：どなたでも
定員：8人（応募者多数の場合は抽選）
料金：無料
申込：電話で三鷹市リサイクル市民工房へ
0422-34-3196

「エコアイデア」募集

「エコアイデア」とは環境に配慮した取組を言います。みなさんが行っている省エネ、節電、節水、リサイクル、生ゴミ対策、緑のカーテンなどを教えてください。こちらで記事にして掲載させていただきます。ただし紙面の都合で掲載できない場合もあります。

問合せ：環境政策課(内線2525)

シジュウカラ用の巣箱の配布

日時：2月17日(火曜日)
午前9時30分から午後3時30分まで
場所：三鷹市役所 1階ホール
配布個数：200個
料金：無料
申込：往復はがきで、「住所」「氏名」「電話番号」「巣箱希望」を記入し下記住所へ
締切：1月31日(土)（消印有効）
問合せ：181-0014
三鷹市野崎三丁目12番14号
NPO法人花と緑のまち三鷹創造協会
0422-31-2871

編集後記

あけましておめでとうございます。
「みたか環境ひろば」が第50号を迎えました。今まで、記事の投稿に関わってくださった多くの方々と読者のみなさまに感謝申し上げます。これからも、「みたか環境ひろば」を通じて、身近な環境への配慮と取り組みの輪が広がっていくことを願っています。
(入江)

次回の発行は平成27年4月の予定です。

発行：みたか環境活動推進会議
(愛称 みんなの環境)
連絡先：三鷹市環境政策課
電話 0422-45-1151 内線2523・2524
E-mail:kankyo@city.mitaka.tokyo.jp
本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。